平成３１年１月４日

**福岡小児歯科集談会講演会のご案内**

福岡小児歯科集談会会長　　二木昌人

新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い申し上げます。

早速ですが、以下の日時、内容で講演会を企画致しましたので、ご案内差し上げます。小児口腔機能発達不全症との関わりでも、今後重要になるトピックかと思います。

## 例年ですと歯科医師向け講演会の時期ですが、今回は医院スタッフ、会員外の歯科医師の方々も参加できます。お声かけ頂けると幸いです。

**日時：平成３１年２月１７日（日）　午後２時～５時**

**会場：福岡県歯科医師会館　４階　第４会議室**

**講演タイトル：　小児の言語療法について －構音障害を中心に－**

**倉重こどもクリニック　緒方祐子（言語聴覚士）**

　近年、職種の垣根を越えた多職種連携による診療が重要であると唱えられている。小児を対象とした言語療法における場合も例外ではなく、医師、歯科医師、看護師、保健師などの他に、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、保育士や幼稚園・学校教諭の教育関連の職種などと共に、子供たちやご家族の支援を行うことが珍しくない。

　言語障害の中のひとつである構音障害は、こどものことばの発達の途中で、音を作る操作を間違ってしまい、それが習慣化した構音障害で、耳の聞こえや発語器官の形態などに問題はなく、特に原因がはっきりしない機能性構音障害、口蓋裂など発語器官の形態異常から機能障害を起こす器質性構音障害、および神経筋系の疾患から運動障害を起こす運動障害性構音障害に分類される。小児科医院での臨床現場においては、機能性構音障害と器質性構音障害のお子さんにお会いすることが多い。その中で、言語聴覚士のみでは治療が難渋する時もあり、歯科医師の先生方とともに治療を進める場合がある。

　そこで今回は、構音に関する基礎知識や、構音障害の評価、歯科医師の先生と連携した症例（鼻咽腔閉鎖機能不全、舌小帯強直症など）を提示しながら、構音訓練の実際を通して、先生方のご意見を伺いたいと思う。

略歴：

1985年　国立身体障害者リハビリテーションセンター学院聴覚言語専門職員養

　　　　成課程卒業後、社会福祉法人別府整肢園勤務

1994年　九州大学歯学部附属病院　口腔外科発音治療室　勤務

　　　　（2005年より九州大学大学院歯学研究院　口腔顎顔面病態学講座）

2005年　医療法人　倉重こどもクリニック勤務

2009年　鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　顎顔面機能再建学講座　助教

2013年　Nationwide Children’s Hospital Cleft Palate Centerおよび

　　　　Speech Pathology Clinic　(Ohio, USA) にて研修

2014年　医療法人　倉重こどもクリニック勤務

　　　　九州大学大学院歯学研究院　口腔顎顔面病態学講座　共同研究員

参加費：

個人会員歯科医師　　　　　　　　　　　無料

医院会員歯科医師およびスタッフ　　無料

個人会員医院のスタッフ　　　　　　　1,000円

ビジター　　　　　　　　　　　　　　　　　1,000円

当会の講演会は、日本小児歯科学会専門医制度における研修単位が認定されております。参加証明書を発行いたしますので、必要な先生は受付でお申し出下さい。